

県ジュニア美術展覧会入選作品

第47回新潟県ジュニア美術展覧会において、関川小学校から優秀賞1作品、奨励賞2作品が選ばれました。受賞されたみなさんおめでとうございます。

*敬称略

- ◆主催 新潟日报社・県教育委員会など
- ◆応募数 県内の保育・幼稚園、小・中学校などから絵画31,938点
- ◆入選数 2,060点（特賞30点・優秀賞190点・奨励賞1,840点）



題名「きょうりゅうとあそぶ」

優
秀
賞

佐藤 捷斗 (関川小2年・高瀬)

奨
励
賞



題名「思い出の雪景色」
鈴木 ことみ
(関川小6年・下関)



題名「ういているまち」
山口 優大
(関川小1年・辰田新)

学校からのお知らせ

今日は関川中学校からの紹介

あけましておめでとうございます。本年も関川中学校のご支援をよろしくお願いたします。

いじめ見逃し ゼロプロジェクト再始動

いじめにかかわる痛ましい報道をたびたび目にします。大人だけではなく、同年代の中学生・高校生も胸を痛めていることと思います。どの学校も取り組みを進めているはずなのに、悲しい事案が後を絶たない。やるせなさを感じている人たちも多いことと思います。それほど人の心の闇は深いのか。そこに気づかない、気づこうとしないだけなのか。

だからといって手をこまねいては、もっと多くの深刻なできごとが起こりかねない。不断の取り組みを進めていくしかありません。当校では1月、生徒たち自身の取り組みである「いじめ見逃しゼロプロジェクト」全校集会を実施します。今回はもうすぐ中学校に進学する小学6年生も一緒に活動に参加し、中学生と同じテーマについて考えてもらいます。いじめ行為に最も近い存在である生徒が自らの力で「いじめをしない、させない、見逃さない」学校風土をつくります。



映像の
ワンシーン

今年度も3年生を中心に、いじめに関する映像を制作しました。今回はストーリーを完結させず、その後を考えさせる展開になっています。

視聴後、未完のストーリーから課題が提示されます。小中学生で編成した班で話し合いを進めながら、課題解決を図ります。

当日は、ぜひご来校いただき、一緒に映像を視聴、課題解決の話し合いに参加していただければ幸いです。年齢層が違う方々の感じ方・とらえ方は、子どもたちにとって参考になることと思います。いじめ解決には、様々な解決方法の選択肢をもつことが大切なことから。

日時：1月20日(金) 13時10分～15時

場所：関川中学校 多目的教室

小学生「人権標語コンテスト」入賞作品

平成28年度小学生「人権標語コンテスト」(村上人権擁護委員協議会主催)に村上岩船管内19の小学校から、182点のすぐれた「人権標語」応募があり、関川小学校から優秀賞1点と佳作賞1点が入賞しました。入賞作品を紹介いたします。

優秀賞

- ・本当は **いじめる方が 弱いんだ**
新野 太 豊 (6年・金丸)

佳作賞

- ・「やめてよ」と その一声が 助け呼ぶ
渡 邊 彩 奈 (6年・沢)

中学生「人権作文コンテスト」審査結果

平成28年度「中学生人権作文コンテスト」(村上人権擁護委員協議会主催)に村上岩船管内7校307人の生徒が取り組み、その中から最優秀賞3編、優秀賞14編が決まりました。関川中学校から3編が優秀賞に決まりました。

優秀賞

- 長野 光 希 (1年・上土沢) 「一人一人の人権」
- 橘 輝 (2年・湯沢) 「人権について」
- 大島 陽 葉 (3年・上野新) 「私たちの人権」



▲人権週間に村上プラザで開催された人権啓発活動展